



平成 23 年 4 月 22 日

各 位

会社名 株式会社 札幌北洋ホールディングス
(コード番号 8328 東証第 1 部・札証)

平成 23 年 3 月期通期の連結業績予想の修正と業績の概要 (速報値)
並びに平成 24 年 3 月期の業績予想に関するお知らせ

平成 22 年 11 月 12 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期通期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)の業績予想について、下記の通り修正することといたしましたのでお知らせします。

合わせて、平成 23 年 3 月期通期の業績の概要(現時点における速報値)と並びに平成 24 年 3 月期の業績予想についてお知らせします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 平成 23 年 3 月期通期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位: 億円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,667	308	200	50 円 61 銭
今回修正予想 (B)	1,664	293	123	30 円 83 銭
増減額 (B) - (A)	3	15	77	
増減率 (%)	0.1	4.8	38.5	
(ご参考) 平成 22 年 3 月期	1,799	334	316	75 円 02 銭

(2) 業績予想の修正理由

地域企業の資金需要低迷、市場金利の低下や金融機関間の競争激化による貸出金利回りの低下などにより収益の柱である資金利益が低下傾向にあることに加え、東日本大震災の影響により経済情勢等の先行き不透明感が一層強まっております。

こうした厳しい経営環境の下、4 月よりスタートした新中期経営計画を着実に履行し、地域経済の発展に一層貢献していくため、より保守的な信用コストの計上、価格変動リスクの高い有価証券の売却、将来収益をより慎重に見積もり直したことに伴う繰延税金資産の取崩しなど、環境悪化の影響を受けにくいより健全な財務体質への改善を積極的に進めたことにより、平成 23 年 3 月期通期の業績予想に関しましては、経常利益は 293 億円と前回予想比 15 億円の減益、当期純利益は 123 億円と前回予想比 77 億円の減益に下方修正いたします。

なお、平成 23 年 3 月期の処理により、平成 24 年 3 月期の当期純利益は後記 3 に記載の通り大幅に改善する見込みにあります。

2. 平成 23 年 3 月期通期の業績の概要 (速報値)

(1) 札幌北洋グループ連結の損益状況

・平成 23 年 3 月期通期の連結コア粗利益は、1,148 億円と前年比 75 億円減少(前回予想比では 43 億円の減少)の見通し。

預貸金利収支は前年並みを確保するものの、価格変動リスクの高い有価証券の売却を加速させたことに伴い有価証券利息配当金が減少し、資金利益が 925 億円と前年比 61 億円減少したことが主因。

・連結コア業務純益は、371 億円と前年比 94 億円減少(前回予想比では 29 億円の減少)の見通し。

連結コア粗利益の減少に加えて、経費が19億円増加（前回予想比では15億円の減少）したことによるもの。

- ・ 経常利益は、293億円と前年比41億円減少（前回予想比では15億円の減少）の見通し。
今後の経済情勢等の悪化を見込み、保守的に信用コストを計上した一方で、債券売却益により有価証券等関係損益を42億円計上したことなどによるもの。
- ・ 当期純利益は、123億円と前年比193億円減少（前回予想比では77億円の減少）の見通し。
震災の影響などを踏まえ、将来の収益（将来課税所得）をより慎重に見積もり直したことから、法人税等調整額が117億円と前年比129億円増加（前回予想比では55億円の増加）したことによるもの。

【札幌北洋グループ連結】

（単位：億円）

	H22.3 期 (実績)	H23.3 期		H23.3 期 前回予想	前回予想比
		(速報値)	前年比		
経常収益	1,799	1,664	135	1,667	3
連結コア粗利益	1,223	1,148	75	1,191	43
資金利益	986	925	61		
役務取引等利益	192	190	2		
その他業務利益	44	32	12		
経費（除く臨時処理分）	757	776	19	791	15
連結コア業務純益	465	371	94	400	29
信用コスト	136	128	8	113	15
有価証券等関係損益	15	42	27	0	42
経常利益	334	293	41	308	15
法人税等調整額	12	117	129	62	55
当期純利益	316	123	193	200	77

連結コア粗利益 = 資金利益 + 役務取引等利益 + その他業務利益 - 国債等債券関係損益

信用コスト = 貸倒償却引当費用 = 一般貸倒引当金繰入額 + 貸倒損失額

有価証券等関係損益 = 国債等債券関係損益 + 株式等関係損益 + 金銭の信託運用損益

連結コア業務純益 = 連結コア粗利益 - 経費（除く臨時処理分）

【ご参考：北洋銀行】

（単位：億円）

	H22.3 期 (実績)	H23.3 期		H23.3 期 前回予想	前回予想比
		(速報値)	前年比		
経常収益	1,472	1,341	131	1,350	9
コア業務粗利益	1,157	1,078	79	1,121	43
資金利益	983	922	61		
役務取引等利益	150	147	3		
その他業務利益	22	8	14		
経費（除く臨時処理分）	740	761	21	777	16
コア業務純益	416	317	99	344	27
信用コスト	99	106	7	81	25
有価証券等関係損益	13	42	29	0	42
経常利益	322	262	60	285	23
法人税等調整額	5	113	119	63	50
当期純利益	302	124	178	205	81

(2) 主要勘定残高（北洋銀行）

- ・資金量末残は、公金預金の増加などにより、6兆8,415億円と前年比84億円増加の見通し。
- ・預かり資産末残は、投資信託は減少したものの、公共債保護預かりと個人年金保険等の増加により7,421億円と前年比503億円増加の見通し。
- ・貸出金末残は、地公体向け貸出が増加した一方で、法人向け貸出が減少したことにより、5兆2,284億円と前年比144億円減少の見通し。
- ・有価証券末残は、1兆4,951億円と前年比194億円減少の見通し。

【北洋銀行】

（単位：億円、％）

	H22.3 末 (実績)	H23.3 末		
		(速報値)	前年比	年率
資金量	68,331	68,415	84	0.1
預かり資産	6,918	7,421	503	7.2
貸出金	52,428	52,284	144	0.2
有価証券	15,145	14,951	194	1.2

資金量 = 預金 + 譲渡性預金

預かり資産 = 公共債保護預かり + 投資信託 + 個人年金保険等（販売累計額）

(3) その他有価証券の評価損益

- ・その他有価証券の評価損益は、相場下落の影響並びに価格変動リスクの高い有価証券の売却を進めたことにより、札幌北洋グループ連結で714億円と前年比110億円減少の見通し。
- ・北洋銀行も同理由により、704億円と前年比109億円減少の見通し。

（単位：億円）

	札幌北洋グループ連結			北洋銀行		
	H22.3 末 (実績)	H23.3 末		H22.3 末 (実績)	H23.3 末	
		(速報値)	前年比		(速報値)	前年比
その他有価証券	824	714	110	813	704	109
株式	285	230	55	274	220	54
債券	270	295	25	270	295	25
その他	268	187	81	268	187	81

<ご参考>

	H22.3 末	H23.3 末	前年比
日経平均株価（円）	11,089	9,755	1,334
新発10年国債利回り（％）	1.395	1.255	0.14

(4) 金融再生法開示債権（北洋銀行）

- ・最終処理の進展等に伴う破産更生等債権の減少により、金融再生法開示債権は 1,799 億円と前年比 156 億円減少の見通し。
- ・開示債権比率（部分直接償却後）は、2.61%と前年比 0.14 ポイント改善の見通し。

【北洋銀行】

（単位：億円、%）

	H22.3 末 (実績)	H23.3 末	
		(速報値)	前年比
破産更生等債権	772	686	86
危険債権	822	793	29
要管理債権	360	319	41
金融再生法開示債権	1,955	1,799	156
(開示債権比率)	(3.65)	(3.37)	(0.28)
部分直接償却後	1,462	1,384	78
(開示債権比率)	(2.75)	(2.61)	(0.14)

当グループでは部分直接償却未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。

開示債権比率 = 金融再生法開示債権 ÷ 総与信 × 100

3. 平成 24 年 3 月期の業績予想

- ・連結コア粗利益は、役務収益の増加などにより 1,164 億円と前年比 16 億円の増益の見込み。
- ・経費は、新システムセンターの本格稼働に伴う経費増などにより前年比 15 億円の増加を見込んでおり、連結コア業務純益は 373 億円と前年比 2 億円の増益見込み。
- ・信用コストは、経済情勢等の先行きが不透明な状況にはあるものの、貸倒実績率の低下により一般貸倒引当金が減少することなどから 43 億円と前年比 85 億円の大減見込み。有価証券等関係損益は前年比 42 億円の減少見込み。結果として、経常利益は 341 億円と前年比 48 億円の増益見込み。
- ・当期純利益は、法人税等調整額の減少により、244 億円と前年比 121 億円の大増益見込み。

【札幌北洋グループ連結】

（単位：億円）

	中間期			通期		
	22.9 期 (実績)	23.9 期 (予想)	前年比	23.3 期 (速報値)	24.3 期 (予想)	前年比
経常収益	866	840	26	1,664	1,655	9
連結コア粗利益	613	574	39	1,148	1,164	16
経費(除く臨時処理分)	395	405	10	776	791	15
信用コスト	38	12	26	128	43	85
有価証券等関係損益	0	0	0	42	0	42
経常利益	188	162	26	293	341	48
当期(中間)純利益	113	105	8	123	244	121

連結コア業務純益	218	169	49	371	373	2
----------	-----	------------	----	-----	------------	---

【北洋銀行】

(単位：億円)

	中間期			通期		
	22.9期 (実績)	23.9期 (予想)	前年比	23.3期 (速報値)	24.3期 (予想)	前年比
経常収益	703	687	16	1,341	1,350	9
コア業務粗利益	579	541	38	1,078	1,096	18
経費(除く臨時処理分)	386	397	11	761	775	14
コア業務純益	193	144	49	317	321	4
信用コスト	21	7	28	106	10	96
有価証券等関係損益	0	0	0	42	0	42
経常利益	181	158	23	262	325	63
当期(中間)純利益	128	118	10	124	250	126

以 上

業績予想ならびに速報値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想等であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績は、様々な原因によりこれらの業績予想値等とは異なる可能性があります。